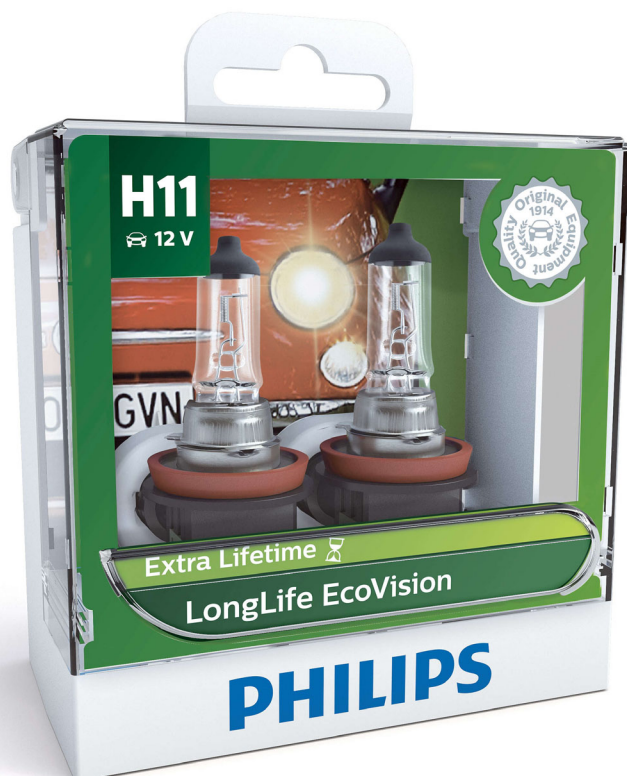


Philips LongLife EcoVision
ヘッドランプ用 LED バ
ルブ

バルブタイプ : H11

2 個入
12V、55W

12362LLECOS2



純正バルブ交換用ハロゲンバルブ

ロングライフ設計で交換サイクルを軽減

ヘッドランプの交換は時間と手間がかかります。ロングライフ設計のフィリップス LongLife EcoVision は、自動車メンテナンスにかかる手間や時間を軽減したい方に最適です。

高品質で耐久性の高い自動車用照明

- 防湿性に優れたフィリップスの自動車用照明
- 高品質のクォーツガラスを使用したフィリップスの自動車用照明

純正バルブと比較し、長寿命

- 少ない交換で廃棄物を削減
- 高品質なフィラメント設計でメンテナンス回数を削減
- 長寿命製品
- 安全を確保するために、両方のヘッドランプを同時に交換しましょう

OEM

- ECE 認証の高い品質標準を順守
- 受賞歴のある自動車用照明メーカー
- フィリップスは主要な自動車メーカーに選ばれています

PHILIPS

仕様

セールスポイント

- 期待される効果: 長持ち
- 製品特長: 長寿命製品

製品仕様

- アプリケーション: フロントフォグランプ
- ベース: PGJ19-2
- 名称: H11 LongLife EcoVision
- ECE 認証: 有
- シリーズ名: LongLife EcoVision
- 光源: ハロゲン
- バルブタイプ: H11

寿命

- 寿命: 2000 時間

光の特性

- 色温度: 3250 K
- ルーメン: 1350 ± 10% lm

電源仕様

- ワット数: 60/55 W
- 対応電圧: 12 V

注文情報

- 品番: 12362LLECOS2
- 注文コード: 35595630

パッケージデータ

- パッケージ種類: S2
- JANCODE: 8727900355956
- EAN3: 8727900356021

梱包製品情報

- 1 箱あたりの総重量: 4308.300395 g
- 長さ: 10.9 cm
- 幅: 5.3 cm
- 高さ: 10.9 cm
- 1 箱あたりの本体重量: 21.5 g
- 発注単位 / MOQ (最低発注数量): 20

外装箱情報

- 長さ: 27.6 cm
- 幅: 22.8 cm
- 高さ: 12.6 cm
- 1 箱あたりの総重量: 2.53 kg

特長

数倍長く走行可能

フィリップスの LongLife EcoVision なら、最大 1500 時間までヘッドランプの交換が不要です。

メンテナンスの負荷を軽減



フィリップスの LongLife EcoVision を使用すればランプ交換回数を軽減できます。車輦電圧の高い自動車に最適なバルブです。

廃棄物を減らしてエコに運転

環境に配慮した照明ソリューションをお探しの方に最適です。

左右同時に交換

ヘッドライト左右の明るさを均等にするために、一組単位で交換することを強くお勧めします。

自動車メーカーの選択

フィリップスは 100 年にわたり、自動車照明業界の最先端で技術革新を推進してきましたが、今ではその技術は自動車の標準仕様となっています。キセノン HID テクノロジーを発明したのはフィリップスです。今日では、ヨーロッパでは 2 台に 1 台、世界では 3 台に 1 台の車にフィリップスの照明が搭載されています。

受賞歴のある自動車用ランプ

当社の照明は自動車専門家からしばしば表彰されています。

ECE 認証

フィリップスの自動車製品とサービスは、OEM 市場と補修部品市場でクラス最高の評価を受けています。高品質の素材を用い、基準に従ってテストされた製品群には、走行中の安全性と快適性を最大限に高める設計が施されています。製品の一部は徹底したテスト、品質管理、認定 (ISO 9001、ISO 14001、QSO 9000) を通じて ECE 認証の最高基準を満たしており、まさに信頼に足る品質の代名詞です。

高品質のクォーツ (石英) ガラス

UV カット石英ガラスは、硬質ガラスよりも強く、極端な温度変化や振動に耐え、バルブ破裂の危険性を抑えます。フィリップスの石英ガラスランプ (フィラメント 2650 °C、ガラス 800 °C) は過酷な熱温度衝撃にも耐えられます。ランプ内の圧力上昇を抑制する機能をもった UV カット石英ガラスが、より強力なバルブの製造を可能にしています。

防湿性

熱温度衝撃には、石英ガラスでできたバルブ (フィラメント 2650 °C、ガラス 800 °C) のみが耐えられます。熱温度衝撃は、熱くなった電球に 1 滴の冷水が落ちた場合などに発生します。ヘッドライト部分が壊れた状態で雨の中を走行したときに、起こりえる状況です。

発行日 2023-09-16

バージョン: 2.0.1



Philips Japan, Ltd.